

見える現実、知られざる真実

世界報道写真展

こういう類の展覧会では、大抵写真が撮れないのですが、写真撮影が可能というのがとても嬉しかったです。世界のあちこちの現状が分かって、とても興味深かったです。”百聞は一見に如かず”本当に、自分の知らないところで心の痛むニュースがあることに驚かされます。これらの写真を心に留めて、また家族や知人に知らせていきたいです。
「知る」ことが、まず第一歩なのだと思います。
(20代 大学生 京都市)

非常にすばらしい展示で、毎年楽しみにしています。これからも是非々々継続していけることを願っています。ありがとうございました。
※ここにある写真群は日本国内の箱庭的世界の外へと意識と倫理を開いてくれます。 (30代 教職員 京都市)

普段、テレビや新聞では報道されない現実を目の当たりにしました。日本人はこれらのことを他人事として見ているのではないかと思います。もっと多くの人が世界の現状を知り、考え、行動する世の中になるべきだと感じました。 (20代 大学生 奈良県)

貪欲に幅広い、さまざまな写真が集められていて、いい刺激を受けたり、恐怖を感じたり、なかなかできない体験でした。 (40代 会社員 京都市)

会期中、来館者からたくさんのご感想が寄せられました。その中から掲載の許可をいただいたものをご紹介します。

見える現実、知られざる真実

世界報道写真展

平和って何なんやろナー、と思う。誰だって平和がよくって「自分の考える事が一番の平和案だ」と思ってて、その価値観が色々あるから争いがおこるんやナ。たとえば算数や漢字のテスト、テニスやサッカーの試合なら勝ち負けははっきりするけど。数字でははかれないものに勝ち負けはつけられない。平和って難しい。（40代 看護師 京都市）

すばらしい写真で感動しました。（70代 学生 京都市）

人が、他の人と、または自然の中で「生きる」とは、ということを改めて深く考えさせられました。人のnatureとは、もしくは衝動性や怒りというもののコントロールとは、ということも考えました。今年も、この展示が見れてよかったです。（30代 学生 京都市）

今の地球で起こっている事柄を視点を変え、みごとに写し出されている。地球<宇宙の現実を目の前にして、人間のオロカサ→未来について考え・造る指針になった。ある部分だけでなく未来を照らす写真も展示して欲しい。（60代 無職 京都市）

戦争や病気、世の中の負、影の部分を取りあげた写真の訴える力は大きいと思います。日本にいただけでは気づかない世界の実情の一部を知るには一枚の写真の力は大きい。日本国内ではとりあげられないものが多いのが残念です。（50代 無職 大阪府内）

会期中、来館者からたくさんのご感想が寄せられました。その中から掲載の許可をいただいたものをご紹介します。

見える現実、知られざる現実

世界報道写真展

世の中、争いが多すぎる。貧困也多すぎる。何とかならないかといつも思う。この様な展示発表を一部でなく、マスコミや公共機関等を通じ広く伝えてほしいと思う。(70代 無職 大阪府内)

一流のカメラマンだと思う。世界の動向が読めて良かった。日本は平和なので、いい国だと気づいた。外国はまだまだ日本ほど治安は良くないので、まだまだ怖いと思う。(40代 無職 大阪府内)

笑顔のある写真もあたらいいなあ～。 (70代 アルバイト 京都市)

同じ地球上のどこかで虐待や殺戮が日々繰り返されていることに心が痛む。この世に貴い生を受けている生命あるものとして余りにも不平等であることに憤りを感じる。(60代 会社員 京都府内)

会期中、来館者からたくさんのご感想が寄せられました。その中から掲載の許可をいただいたものをご紹介します。

見える現実、知られざる現実

世界報道写真展

特に今回は、殆ど紹介されないウクライナ、モンゴルetc.の負の部分、マイナーな存在（性的マイノリティー）又グローバル化しつつある出会い系サイトなど興味ある素材をうまくキャッチしている。
（70代 無職 京都市）

一般の新聞に掲載される写真に比べ、生々しいシーンや想像しなかった様な事態を克明に伝えている作品には報道で理解していた印象を覆すようなインパクトを感じた。（60代 無職 京都市）

毎回楽しみにしている展覧会です。たまたまTOEIC試験会場の衣笠キャンパス内でポスターを見かけて、試験終わりに立ち寄りしました。ゆっくり鑑賞できて良かったです。（30代 学生？ 京都府）

涙が出てきた。（60代 主婦 京都府内）

会期中、来館者からたくさんのご感想が寄せられました。その中から掲載の許可をいただいたものをご紹介します。